
2034. 積戻貨物情報登録

業務コード	業務名
RCR	積戻貨物情報登録

1. 業務概要

輸入貨物としてシステムに登録されている貨物を積戻しする場合に本業務を行い、輸入貨物情報から積戻し貨物情報への移行を行う。

これにより、輸出管理番号をシステムで払い出す。

また、既に本業務により登録済の貨物に対し、積戻し貨物情報の削除も行う。

2. 入力者

通関業、海貨業

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②削除の場合は、本業務を行った利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 船舶DBチェック

積載予定船舶コードが入力された場合は、積載予定船舶コードに対する船舶DBが存在すること。

(4) 貨物情報DBチェック

(A) 登録の場合

入力されたB/L番号（CT-B/L番号を含む。以下同様。）の貨物情報DBに対して以下のチェックを行う。

- ①入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②保税地域に蔵置されているか、または「システム外保税運送到着確認（SAT）」業務により到着確認が行われていること。
- ③輸入貨物であること。
- ④以下の承認及び許可がされていないこと。
 - ・輸入許可済（BP承認を含む。）
 - ・蔵入承認済（蔵置場所が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合を除く。）
 - ・移入承認済
 - ・総保入承認済
 - ・展示等承認済
- ⑤事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。
- ⑥貨物が蔵置されている保税地域からの保税運送申告がされていないこと。
- ⑦貨物取扱許可申請中でないこと。
- ⑧見本持出許可申請中でないこと。
- ⑨訂正保留中でないこと。
- ⑩「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務により、仕分親となっていないこと。
- ⑪既に本業務により積戻し貨物情報登録がされていないこと。

⑫混載貨物の親となっていないこと。

⑬「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務により以下の登録がされていないこと。

- ・ 亡失届受理
- ・ 減却承認
- ・ 現場収容
- ・ 税関内収容
- ・ その他の搬出承認

⑭貨物手作業移行されていないこと。

⑮貨物差止め登録がされていないこと。

(B) 削除の場合

(a) 入力されたB/L番号に対する貨物情報DBチェック

入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、積戻し貨物情報へ移行された旨が登録されていること。

(b) 入力された輸出管理番号に対する貨物情報DBチェック

①入力された輸出管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。

②本業務で輸入から移行された貨物情報であること。

③本業務登録時に蔵置されていた保税地域に貨物が蔵置されているか、または本業務登録時にSAT業務により到着確認が行われた場所に貨物が存在すること。

④積戻し申告がされていないこと。

⑤事故貨物の場合は、税関による事故確認登録がされていること。

⑥貨物取扱登録がされていないこと。

⑦貨物取扱許可申請がされていないこと。

⑧見本持出許可申請がされていないこと。

⑨訂正保留中でないこと。

⑩保税運送申告がされていないこと。

⑪「許可・承認等情報登録（輸出通関）（PAE）」業務がされていないこと。ただし、以下の登録がされている場合を除く。

- ・ 積戻し取止輸入許可
- ・ 輸出等申告撤回
- ・ 不積返送承認

⑫PSH業務により以下の登録がされていないこと。

- ・ 亡失届受理
- ・ 減却承認
- ・ 現場収容
- ・ 税関内収容
- ・ その他の搬出承認

⑬貨物手作業移行されていないこと。

⑭貨物差止め登録がされていないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 輸出管理番号払出し処理

登録の場合は、輸出管理番号をシステムで払い出す。

(3) 貨物情報DB処理

(A) 登録の場合

①システムで払い出した輸出管理番号に対する貨物情報DBを作成する。

②入力されたB/L番号に対する貨物情報DBから輸出管理番号に対する貨物情報DBへ必要な貨物情報を移行する。

③入力されたB/L番号に対する貨物情報DBに削除表示を設定する。

(B) 削除の場合

①入力された輸出管理番号に対する貨物情報DBをシステムより削除する。

②入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、削除表示を解除する。

③入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在しない場合は、貨物情報DBを作成し、必要な貨物情報を移行する。

(4) コンテナ情報DB処理

コンテナ詰めされている貨物の場合は、以下の処理を行う。

(A) 登録の場合

①入力されたB/L番号に関連付けられたコンテナ番号のコンテナ情報DBから、当該B/L番号の関連付けを外す。

②システムで払い出した輸出管理番号を当該コンテナ番号に関連付けを行う。

(B) 削除の場合

①入力された輸出管理番号に関連付けられたコンテナ番号のコンテナ情報DBから、当該輸出管理番号の関連付けを外す。

②入力されたB/L番号を当該コンテナ番号に関連付けを行う。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
積戻貨物登録情報	新規登録である場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 新規登録である (2) 貨物の蔵置場所がシステム参加保税地域* ¹ である	貨物が蔵置されている CYまたは保税蔵置場
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 新規登録である (2) 入力された申告予定者と入力者が異なる	入力された申告予定者
積戻貨物取消情報	削除である場合	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 削除である (2) 貨物の蔵置場所がシステム参加保税地域である	貨物が蔵置されている CYまたは保税蔵置場
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する (1) 削除である (2) 貨物情報DBに登録されている申告予定者と入力者が異なる	貨物情報DBに登録されている申告予定者

(* 1) システム参加保税地域とは、システムに参加している保税地域をいう。

7. 特記事項

輸入業務にて作成されたB/L番号に対する貨物情報DBの以下の項目を輸出管理番号に対する貨物情報DBへ移行する。

- ①品名
- ②個数
- ③個数単位コード
- ④重量
- ⑤重量単位コード
- ⑥容積
- ⑦容積単位コード
- ⑧記号番号
- ⑨危険貨物等コード
- ⑩コンテナ本数
- ⑪コンテナ番号